

佐用町では、森林環境譲与税を活用して、

- 森林所有者の森林経営計画への参加を促進して、間伐施業地の拡大を図りました。
- 原木の集出荷施設「木材ステーションさよう」の設置により、住民による里山林等の森林整備を促進しました。
- 民家、公に供する施設・道路・集会所等及び農地に被害を及ぼすまたは及ぼす恐れのある支障木の伐採等森林の整備を行いました。
- 所有者による経営管理が困難な山林の町有林化を促進しました。
- ドローン（無人航空機）の操作技術証明書を取得研修に参加しました。
- 林務業務の円滑実施のために新たに職員を雇用しました。
- 森林ビジョンの推進のため、林業事業者等との勉強会を行いました。

□ 事業内容

1 森林保全間伐促進事業

- 森林経営計画により間伐を実施した森林所有者に対して、間伐面積1haにつき5万円を補助しました。

【事業費】5,916千円（全額譲与税）

【実績】118.32haの間伐が実施できました。

2 森林資源活用事業

- 未利用木材の利活用及び住民による森林整備の促進のために設置した原木集出荷施設「木材ステーションさよう」を運営し、原木買取に1tあたり3,000円の地域商品券を上乗せしました。

【事業費】840千円（全額譲与税）

【実績】181.68tの原木の出荷がありました。

3 町単独治山事業（森林整備）

- 民家、公に供する施設・道路・集会所等及び農地に被害を及ぼすまたは及ぼす恐れのある支障木の伐採等森林の整備に係る事業費について補助しました。

【事業費】320千円（全額譲与税）

【実績】3件支障木の伐採を行いました。



（事業3 民家裏危険木）

□ 基礎データ

①令和4年度譲与額	45,100千円
②私有林人工林面積（※1）	9,989.95ha
③林野率（※2）	81.0%
④人口（※3）	17,510人
⑤林業就業者数（※4）	18人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より

4 町有林化促進事業（森林整備）

- 不明の森林や放置森林の解消を目的とし所有者による経営管理が困難な山林の町有林化を促進しました。

【事業費】58,595千円（一部譲与税）

【実績】205.38haの山林を引き取りました。

5 無人航空機操作研修

- 災害時や、現場測量時などで現地に立ち入ることが困難な場所などに遠隔から森林の様子を確認できるようにするため、ドローン（無人航空機）の操作技術証明書を取得しました。

【事業費】275千円（全額譲与税）

【実績】倒木跡地などの立ち入り困難な山林の状況確認を行いました。

6 林務アドバイザー雇用

- 町有林化促進事業等林務業務の円滑実施のために新たに職員を雇用しました。

【事業費】2,557千円（全額譲与税）

【実績】1名雇用

7 森林ビジョン推進事業

- 令和2年度に策定した森林ビジョンの推進のため、林業事業者等との勉強会や、小学生向けの木工体験会を開催しました。

【事業費】3,993千円（全額譲与税）

【実績】森林勉強会7回 木工体験会1回



●山林を引き取るまでの流れ



●売買の場合の価格

山林の土地の価格：近隣の山林の標準的な固定資産税評価額
立木の価格：樹種と1haあたりの立木本数に応じて下表のとおり

立木調査高 [本/ha]	樹高[m]	備考
2500以上	300 350	・材種は森林資源調査結果 の一覧による
2000～2500	200 300	・立木7/8haに相当
1400～1999	300 450	・落葉、常緑、土砂災害、火 災等の被害材を除く
1000～1399	400 600	
500年以下	500 750	
広葉樹割合	0 0	

（ 事業4 町有林化促進事業 ）



（ 事業5 ドローンを使った森林調査 ）